

## 2歳児の社会的発達

一児童館の幼児活動における指導員の働きかけと親子の反応に着目して—  
宮崎孝子

（東京家政大学大学院人間生活学総合研究科）

**問題** 幼稚園や保育園といった集団生活へ移行する前の2～3歳児の親子の幼児活動に焦点を当てた。児童館での親子一緒に幼児活動では指導員はどのように親子たちに働きかけているのか、また、それが幼児の対人関係等の社会的発達にどのように影響を与えているかを検討することを目的とする。

**方法** 1) 対象：首都圏内A市立B児童センターの幼児活動に参加した2～3歳児の親子、毎月1～2回、毎回10～28組参加、指導員3名 2) 調査時期：2016年4月～2017年3月 3) 実施方法：4月から全体の参与観察を行い、9月から参加者の了解を得てビデオ撮影を行った。本研究では4月～7月を前期、9月～12月を中期、1月～3月を後期と観察期間を3つの時期に分けた。前期は全体に目を向け、中期以降は男児A君と女児Kちゃんを中心に焦点を当て、エピソードを逐語録化して分析を行った。

**結果と考察** 1) 前期 指導員は児童館のこの活動をパブリックな場での遊び・交流の活動と位置づけ、徐々に慣れるように、親を通して子どもに働きかけ、体操・製作・手遊び等の多様なプログラムを準備・提供していた。まず親はこの場が安全で楽しい遊びの場であることを理解し、わが子の安全基地であるように努めていた。**エピソード** 前期の初めにはC君は母にくっついていて、抱っこやおんぶされることも少なくなかった。前期の後半では、母のそばで一緒に指導員の踊りを見て、身体を左右に揺らしたり、手を動かしたりしていた。「ペンギンのプール体操」では、ペンギンのお面を被り、母のそばで踊っていたが、周りの二人の子どもたちが皆の間を走り始めると、走り始めることもあった。

2) 中期 指導員は9月に子どもたちに直接やりたい体操について尋ね、多かった「ペンギンのプール体操」の意見を活動の中に取り入れた。また、子どもたちが活動を終わると、「上手ね」「すごい」「いいね」と評価し、また親から離れて前に出て活動するように伝えていた。個別に子どもだけでなく親の活動も拾い上げ、褒めたり、感謝を伝えたり、評価をした。子どもたちは指導員を観察し、模倣をし、受容したが、指導員の指導と別行動や反発をしたり、動揺したり、自分流を通すこともあった。親はわが子を補助し、修正をして支えていた。

**エピソード** A君（11月）ラーメン体操を踊る時に頭に付けるラーメン丼を作った。右隣のX君が作り終えて、B先生に出来上がった丼を見せると、B先生は「大盛です。大盛一丁」と褒めた。A君が出来上がると、母はA君の頭にのせて、両手をたたいて「できたー」と褒めた。B先生がそばに見に来たので、A君は手に持って見せると、「大盛です。大盛です」と褒めた。母のそばに笑顔で戻ると、母はにっこりしながら丼を頭にのせてくれた。Kちゃん（11月）B先生が「ペンギンさんの用意をしてください。可愛いペンギンさんは前に来て」と呼び掛けたので、母はKちゃんを一步前に行かせた。「お母さまたちも慣れたところでいっぱい動きます」と、親の参加も強く促した。母はKちゃんを見ながら踊りを見せた。KちゃんはB先生の踊りを見ながら、横っ飛びもジャンプも片足立ちもして、「回ってハイポーズ」では、ぐるりと回ってポーズを決めた。

3) 後期 指導員は更に個別に子どもたちに働きかけていくようになり、子どもたちは誕生会、体操、ゲーム、パラバルーンの活動の中で自分の気持ちを出して、主張するようになった。それを聞いたり、見たりして、他の子どもへの関心が強くなり、共感する力が伸びてきた。活動の最後の「さようならタッチ」という親子のふれ合い遊びの終了後には、子どもたちは指導員とタッチをしようと前に出てくるようになった。他の子どもが笑顔でタッチをするのを見て、見る側から勇気を出してタッチをする側へと位置を変化させていった。そこには親子たちに真剣にパフォーマンスをし、指導員の考えを何回も伝え、個別に配慮し、和やかな雰囲気を作り出す活動があった。それにより、子どもたちは親だけでなく指導員と信頼する関係を持ち、周りの仲間に関心を寄せて共感をしていき、社会的発達が促されたと考えられる。**エピソード** A君（1月）ナポリタンの踊りの後にB君が「ペンギン、ラーメン丼をやりたかった」と、指導員たちの前に出て来て言った。参加した親子たちも指導員も静かにB君の話に聞いていたが、既に踊り終えていた。A君はじっと耳を傾け、ナポリタンの踊りの小道具のフライパンとフォークを持って指導員たちの前に行き、「ペンギンさん」と言って、加勢をした。途中から参加したB君のやりたい気持ちを受けとめ、「もう一度ペンギンのプール体操をやるよ」と言いたかったと思われた。Kちゃん（3月）パラバルーンの上にB先生が小さなカラーボールを入れてやるうと言うと、A君が「わいわいわい」と叫んで跳びはねた。KちゃんとLちゃんはA君を見た。Kちゃんの母はくすくすと笑った。B君もD君も跳びはねると、A先生は「楽しくなったねー」と言った。